

# 第11回世界水フォーラム

## テーマ別プロセス 6つのテーマ別枠組み・30のトピック(1/2)



### テーマ1 水の安全保障

#### IA. 地下水および地表水:

農村および都市における水の利用可能量を把握するとともに、公平で分野横断的かつ越境的な管理を推進する

#### IB. 水関連災害:

洪水、干ばつ、砂漠化に対し、計画策定、早期警戒、自然を活用した解決策(NbS)、ならびにダムや貯水インフラを含む緩和インフラを通じて、被害軽減および適応を図る

#### IC. 統合水資源管理(IWRM):

気候変動および人口動態の圧力の下で、流域レベルおよび「源流から海まで(source-to-sea)」のアプローチを用いてIWRMの展開を拡大する

#### ID. 水資源管理における循環の確立(クローズドループ):

需要側の効率化を高め、再利用および循環経済の原則を促進し、非従来型水資源の統合によりレジリエンスを強化する

#### IE. 食料安全保障のための水の確保:

効率的な灌漑、公平な配分、代替水資源の活用、気候レジリエントな転換を通じて、持続可能な農業を推進する

### テーマ2 水のための資金調達

#### 2A. 革新的な水資金調達メカニズムの適用:

フィンテック(金融技術)、グリーン/ブルーボンド、適応的料金制度、生態系サービスへの支払い(PES)などの新たな手法を、ブレンド・ファイナンスの枠を超えて拡大する

#### 2B. 官民セクターの参画:新たな連携の創出:

強固な公共の枠組みの下で、PPP(官民連携)、企業投資・インパクト投資、スマート補助金を整合させ動員する

#### 2C. 水レジリエンスおよび気候適応のための資金:

WASH(水・衛生・衛生管理)、気候スマート型インフラ、ならびに拡張可能な自然を活用した適応策への投資を優先する

#### 2D. マルチスケールプロジェクトのための資金および融資:

マイクロファイナンス、分散型ファンド、包摂的モデルを活用し、小規模・中規模プロジェクトや小規模主体・ステークホルダーの資金アクセスを拡大する

#### 2E. 戦略的かつ包摂的な水資金の拡大に向けた基盤条件の整備:

法制度、制度的能力、リスク管理を強化し、多層的な資金動員を可能にする

### テーマ3 人と自然のための水

#### 3A. すべての人々への安全な飲料水サービスへのアクセスの向上:

レジリエントなサービス提供、包摂的ガバナンス、費用対効果、自然を活用した解決策を通じて、安全な飲料水を人権として保障する

#### 3B. 衛生サービスへのアクセスの拡大および排水の収集・処理の改善:

すべての人に衛生サービスへのアクセスを確保するとともに、貯留から再利用、安全な排出に至るまで、排水の全プロセスを適切に管理する

#### 3C. 水生生態系および水生生物多様性の保全・回復:

自然を活用した解決策、流域保全、汚染管理を通じて、淡水および沿岸生態系を再生する

#### 3D. ワンヘルスおよび分野横断的アプローチによる水質改善:

人・動物・自然のつながりを重視するワンヘルスの視点から、分野横断的に汚染対策を講じ、水質を向上させる

#### 3E. 水・エネルギー・食料・健康・生態系・教育の相互連関:

新たな横断的アプローチにより、水を分野間をつなぐ中核的要素として位置付ける



# 第11回世界水フォーラム

## テーマ別プロセス 6つのテーマ別枠組み・30のトピック (2/2)



### テーマ4 ガバナンスと水外交

- 4A. 政策・規制枠組みおよび制度的メカニズムの導入：  
多層的パートナーシップを促進し、SDGsの水目標の達成に資するため、国家および地方レベルのガバナンスの整合を図る
- 4B. 政治的意思と調整の強化：  
調整された説明責任ある行動と資源の整合を通じて、国際目標と現場での実施とのギャップを埋める
- 4C. 水の持続可能性に関する政策合意のための新たな手法：  
包摂的かつ多層的な協力を通じて、地域から越境レベルに至るまでの主体が水政策を共創できるよう能力強化を図る
- 4D. 包括的な水アドボカシーおよび公共意識向上プログラムの推進に向けて：  
教育、市民参加、ステークホルダー対話、広範な普及啓発プラットフォームを通じて、水の重要性を高める
- 4E. これまで十分に反映されてこなかった声および脆弱な立場の人々の参画：  
女性、若者、先住民、分野横断的な主体を意思決定に包摂することで人権に基づくガバナンスを推進するとともに、人道危機や紛争地域のコミュニティに水と衛生を提供するための新たな水外交の手法を革新する

### テーマ5 水管理のためのイノベーション

- 5A. 水管理のための水文情報及びAIツール：  
強靱なガバナンス、サイバーセキュリティ、テクノロジー分野との連携の下で、AI、地球観測、デジタルツールを活用する
- 5B. 先端的水技術の導入：  
再利用、淡水化、スマートセンサーなどを含む革新的技術について、実証段階から本格導入へと移行し、長期的に環境面で持続可能かつ社会的に公平な形で展開する
- 5C. データと持続的課題の克服：  
リアルタイムデータ、デジタルツイン、意思決定支援の革新を通じて、水情報システムを高度化する
- 5D. 市民科学および地域主体の知の活用：  
伝統的知見と市民主導のイノベーションを、地域参加により最適化された技術と組み合わせ活用する
- 5E. 知識共有：  
オープンデータ、ピアラーニング、能力開発、生涯にわたる研修機会の推進を図る

### テーマ6 水の価値

- 6A. 持続可能な経済成長のための水の価値化  
持続可能な開発および気候レジリエンスに向けて、水の持つあらゆる価値を認識し、強化する
- 6B. 各分野における水管理の効率性向上：  
スマート灌漑、再利用、都市計画などを通じて、分野横断的に効率的かつ循環的な水利用を推進する
- 6C. 持続可能な管理のための水の価格付け：  
環境的・社会的コストを含め、水の真の価値を反映した料金制度および政策を導入する
- 6D. 効率的な水政策を促進するための水の価値評価およびウォーターフットプリントの活用：  
各分野のウォーターフットプリントや貿易に伴う仮想水（バーチャルウォーター）の流れを把握し、影響の低減と責任ある消費を促進する
- 6E. 国の自然資本としての水資源：パラダイムシフトに向けて：  
効率性と公平性に基づいた水配分を確保し、すべての人のアクセスを担保しつつ、水資源から得られる便益を最大化する

